

## 益世地区自主防災組織

# 自治会 見守りネット（体制）の構築

### 活動の必要（きっかけ）

少子高齢化により一人暮らし高齢者、高齢者夫婦、核家族（共稼ぎ）の世帯が増加し、今後も増加の予想。  
日頃から近所（向かい三軒両隣り）の状況を見守ることにより、災害発生時にお互いの安全確保に努められるために取り組む。（防災・防犯・虐待・認知症早期発見）

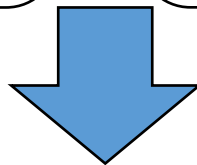
### 見守り登録台帳作成と見守り活動の開始

#### 見守り活動の担い手

益世自治会連合会（自主防災組織）  
単位自治会  
自治会長  
防災指導員  
班長（組長）

#### 見守り対象者

自治会単位での  
見守り登録台帳への届け世帯（班、組）  
（必要時の個人情報開示に同意された方）



### 自治会単位での「声掛け・見守り隊」結成

見守り対象者（班単位のご近所）へ普段から見守りを心掛ける。  
広報、回覧書類配布時に声掛けや挨拶と共に下記の点に留意し、異常などの気付きがある場合自治会長、防災指導員へ連絡ください。

1. 新聞や郵便等のたまり、電灯やクーラーの付けっ放し等の異常が見られる。
2. 不審者に声をかけられていないか。暗くなっても電気がつかない。
3. 押し売りなどに誘われてないか。
4. 不審な電話や郵便で困ってないか。
5. 家族に病気や事故などが起きてないか。昼間でも雨戸が閉まったまま。
6. 親戚、知人等緊急連絡方法に変わりはないか。
7. 災害発生に備えた相談・アドバイスを心がける。
8. 地震・台風・豪雨などの情報と見守り。
9. その他お困りごとは無いか。